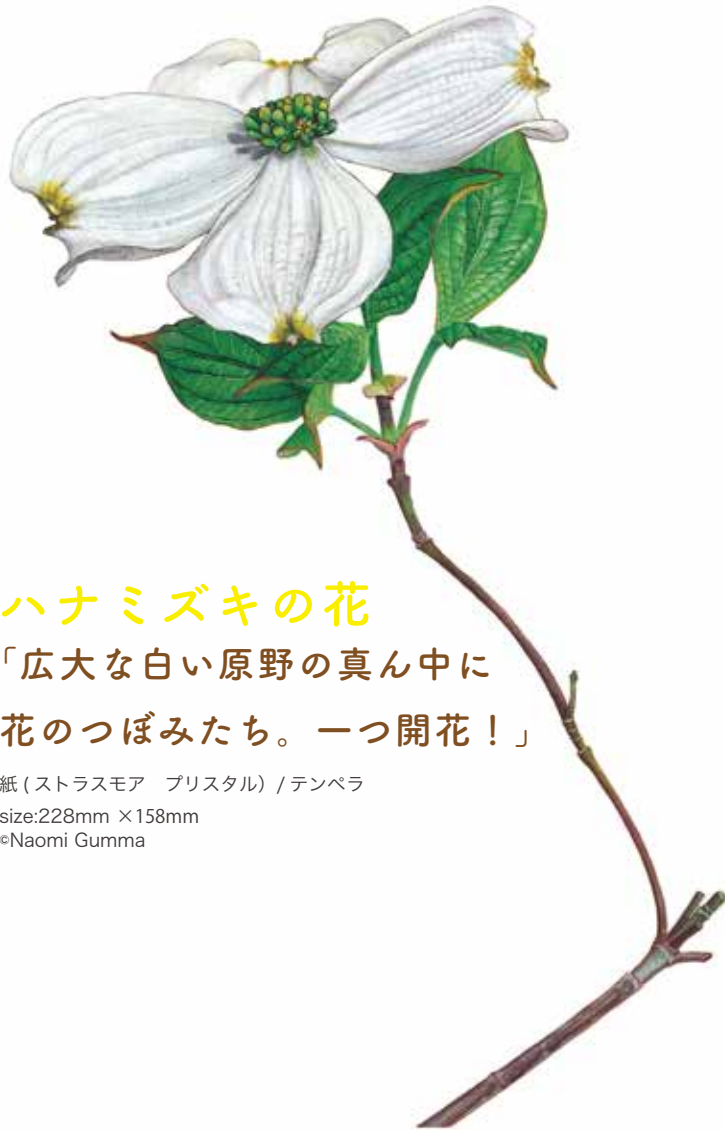


「ヤマトネイチャーサークル」は、株式会社ヤマトが行っている様々な自然環境への取り組みの総称です。
さらなる自然との共生を目指し、地域社会や自然環境への貢献を目的として「ヤマトネイチャーサークル」は幅広い情報発信をしていきます。

葉画家 群馬直美の ヤマトビオトープ園の 葉っぱたち vol.28



ハナミズキの花

「広大な白い原野の真ん中に
花のつぼみたち。一つ開花！」

紙(ストラスモア プリスタル) / テンペラ
size: 228mm × 158mm
©Naomi Gumma



ハナミズキのつぼみ

「宇宙船ハナミズキ号。
乗組員は、緑色の花のつぼみたち」

紙(ストラスモア プリスタル) / テンペラ
size: 228mm × 158mm
©Naomi Gumma

群馬直美 GUMMA NAOMI プロフィール

高崎生まれ。農大二高、東京造形大絵画科卒。大学在学中に新緑の美しさ、その生命力に癒され、葉っぱをテーマとする創作活動に入り葉画家となる。2015年6月ヤマトギャラリーホールにて個展開催、好評を博す。東京都立川市在住。

【<http://www.wood.jp/konoha/>】

「葉画家・群馬直美のヤマトビオトープ園の葉っぱたち」

バックナンバーは、Webヤマトネイチャーサークル【<http://www.yamato-biotope.jp/>】にて、随時公開中です。是非ご覧ください。

水彩スケッチブック 5月 ビオトープ園の小さきものたち (絵と文・群馬直美)

葉画家・群馬直美が、ビオトープ園の小さきものたちのありのままの姿を水彩スケッチ画で紹介します。



トクサ

誰がこんなにたくさんの緑色の棒を地面に突き刺したんだろう？ーこれが私のトクサ第一印象。

プラスチック製の棒にしか見えなかった。

そのトクサが、ビオトープ園のせせらぎの辺りに！

トクサって、一体何者？調べてみたら『シダ類トク

サ科の常緑多年草。本州中部以北の山の中に生

えている』のだそう。緑の棒は『枝分かれしない直

立した莖で、夏になるとその天辺にツクシそっくり

な花を付ける。莖の節を囲む黒々したのが葉っぱ』。

描いてみたら意外にくねくねしていて、傷跡も多く豊

かな表情の持ち主だった。今度は、じっくりテンペラ

で描いてみたい。

「プラスチックの棒呼ばわりしてゴメンよトクサ」と筆

を置いた。

トクサ

ヤマトビオトープ園にて

2018.4.25 紙(ストラスモア インペリアル)/水彩

size:277mm×230mm ©NAOMI GUMMA